

# はじめてのPHPDocと型

My first PHPDoc and Type

型とは何か

# | 型… 型…

---

- 一言で誤解を恐れずに表現するとプログラミング言語が  
1 + [] (数字と配列のたしざん)  
みたいなのを叱れるようにする基盤
- コンパイルするときに型を付けるか  
動かすとき(runtime)に調べるかが、  
静的型付きと動的型検査の大きな差

# 動的型検査

---

- プログラムを動かしながら  
手さぐりで型を調べる
- 「\$aの型はintだな、\$bの型はstring…  
だけど数字だから足しぜんでできるね！」  
みたいな茶番を毎回やってる

靜的檢查

# 動かす前に把握する

---

- 実際に動かさなくても人間は整合性をとりながらPHPを書ける
- 人間がわかるってことは、機械にもやっつけられないことはない

# 型を推測してみよう（型推論）

```
// 絶対int返すマン
function x() { return 1; }
// 絶対array返すマン
function y() { return []; }
// たしざん
// $n1, $n2 は数字っぽい値が欲しい
function add($n1, $n2) { return $n1 + $n2; }

$a = x(); // x()がintを返すからたぶんintのはず
$b = y(); // y()がarrayを返すからたぶんarrayのはず

$c = add($a, $b);
// 数字っぽい値以外を渡すとエラーが発生することは
// 理窟の上では動かさなくても明らか
```

# 型がない関数の問題

---

- 引数に何渡せばいいの… 何返ってくるの
- 時間は有限なので、既存コードを読む時間は最小限にできるとウレシイ
- ほんとに「見ればわかる」シンプルさならいいけど、現実は甘くない
- 型が特定できないことも多い

# | 適当なコメント (Before)

```
// 絶対int返すマン
function x() { return 1; }
// 絶対array返すマン
function y() { return []; }
// たしざん
// $n1, $n2 は数字っぽい値が欲しい
function add($n1, $n2) { return $n1 + $n2; }

$a = x(); // x()がintを返すからたぶんintのはず
$b = y(); // y()がarrayを返すからたぶんarrayのはず

$c = add($a, $b);
// 数字っぽい値以外を渡すとエラーが発生することは
// 理窟の上では動かさなくても明らか
```

# | PHPDocで型を付ける (After)

---

```
/** @return int */  
function x() { return 1; }  
/** @return array */  
function y() { return []; }  
  
/**  
 * @param int $n1  
 * @param int $n2  
 */  
function add($n1, $n2) { return $n1 + $n2; }
```

PHPDoc

# | DocComment

---

- PHPのリフレクションで実行時に取得できる特別な形式のコメント
- メソッドとかクラスの定義に  
`/** ~ */` って書くと文字列になる
- 開始記号は必ず `/**` にすること  
(`/*` では無効なので注意!!!!)

# | DocCommentを取得する

---

```
<?php

/** こんにちは~~~~ */
function hello() { throw new \Exception(); }

$ref = new \ReflectionFunction('hello');
echo $ref->getDocComment(), PHP_EOL;
exit;
```

# APIドキュメントを生成する

---

- ソースコード中のコメントを基に、HTMLドキュメントを生成できる
- JavaDocにインスパイヤされたPHPDocって形式がある
- phpDocumentorプロジェクトがデファクト <https://phpdoc.org/docs/latest/index.html>

# PHPDocの型

---

- 基本はPHPの型かクラス名を書く
- 複合型
  - 「intまたは文字列」 `int|string`
- 値が並んだ配列
  - 「intが並んだ配列」 `int[]`
- <https://zonuexe.github.io/phpDocumentor2-ja/references/phpdoc/types.html>

# これだけ覚えて帰ってね

タグ名	意味	例
@param	引数を定義	@param int \$n1
@return	戻り値を定義	@return int[]
@var	変数/プロパティを定義	@var int
@property	マジックプロパティを定義	@property int \$id

# | 型: `array`について

---

- `array` と `mixed[]` は意味が同じなのでは
- PHPの`array`は  
リストでもあり連想配列でもある
- 標準化された用例ではないが、  
`tadsan`は連想配列を`array`と書く
- 0はじまりの連番の配列は  
`mixed[]` とか `User[]` みたいに書く

# 標準化について

---

- 前述の通り、デファクトは phpDocumentor2の仕様 ([phpdoc.org](http://phpdoc.org))
  - 日本語 <https://zonuexe.github.io/phpDocumentor2-ja/>
- 使ってるツールはいろいろある
  - PhpStorm, Phan, ApiGen, phpDox...
- PSR-5で提案されてるけど... どうなる?

# PHPの型宣言

# タイプヒント改め「型宣言」

---

- PHP5では「タイプヒント」と呼ばれ、引数に特定のキーワードかクラス名を書くことができた
- `function getWorksByUser(UserModel $user)`  
みたいな
- `array, callable, resource`
- PHP7では「型宣言」になって返り値の型が書ける

# 型宣言の難しさ

---

- PHP5はstringとかintとか書けなかった
  - そんなの簡単だろさっさと実装しろや…  
みたいな単純な問題ではない
- `function hoge(int $n)` を `hoge("12")` で呼び出したときにどうするの…?
- パンドラの箱を開けてしまった感
- `declare(strict_types=1)` って書く

# ！キャストの難しさ

```
<?php declare(strict_types=0);

function myint(int $v) { return $v;}

myint(1.1); // => 1
myint(true); // => 1
myint("1"); // => 1
myint(floatval(PHP_INT_MAX - 512)); // int(9223372036854774784)
myint(12345678901234567890.0);
// PHP Fatal error: Uncaught TypeError: Argument 1
// passed to myint() must be of the type integer, float given
myint("12345678901234567890");
// PHP Fatal error: Uncaught TypeError: Argument 1
// passed to myint() must be of the type integer, string given
```

Phan

# | etSY/phan (次回豫告)

---

- 静的解析ツール
  - PHPDocの定義を手がかりに、型が違ってるところを指摘してくれる
  - 11/3にPHPカンファレンスで詳しくしゃべってきます (30分枠)